

栄光のル・マン (1971)

LE MANS

メディア 映画
ジャンル ドラマ スポーツ アドベンチャー
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 109分
初公開日 1971/07/17
公開情報 東和
リバイバル 1974/09 [東和]

【キャッチコピー】

《栄光》にその情熱のすべてを賭けてマックイーンが挑む壮絶な“男”の24時間！

スピードの陶酔！ レースの興奮！ ナマの迫力で叩きつける マックイーンの最高傑作！

【解説】

プロ・レーサーのマイク・デラニーは、ル・マン24時間耐久レースに出場するため現地へ向かった。そこには世界中から一流のレーサーたちが集まったほか、去年マイクも危うく命を落としかけたレースで夫を亡くし、今回別のレーサーに付き添うリサもいた。また、マイクはフェラーリで参戦する最大のライバル、エーリッヒ・ストーラーと宿命の対決を予感するのだった。そして、いよいよレースがスタート。マイクはポルシェを駆り、ライバルたちとのしごきを削っていく。雨にも見舞われ、ますますレースが激しさを増す中、トップ争いを展開するマイクとストーラー。ところが、マイクは他の車が引き起こした大きなアクシデントに巻き込まれてしまう…。

仏のル・マンで開催される24時間耐久レースにカメラを持ち込み、セミ・ドキュメンタリー・タッチで完成させた大作。マックイーン自らのプロデュースで、彼の率いるソーラー・プロが製作。70mmの大画面を使いきった見事な画面レイアウト、息を飲むような絶妙なタイミングのカット割りによって、耐久レースに挑むレーサー、メカニック、それを冷静に見つめる女たちが鮮烈に描かれていく。どしゃ降りの雨の中にかすむポルシェのシルエット、爆発寸前のマシンから脱出する時の焦燥感等、過酷なレースの息づかいが実に鮮やかに描かれている。また、レース・シーンのみならず、影のある孤高の主人公を渋く演じたマックイーン始め、レーサーに扮した俳優たちの存在感が圧倒的に光る。ラスト・シーンは映画史上に残る名場面。

【クレジット】

監督	リー・H・カツイン	Lee H. Katzin	
製作	ジャック・N・レディッシュ	Jack N. Reddish	
製作総指揮	ロバート・E・レリア	Robert E. Relyea	
脚本	ハリー・クライナー	Harry Kleiner	
撮影	ロバート・B・ハウザー	Robert B. Hauser	
	ルネ・ギッサール・Jr	Rene Guissart Jr.	
音楽	ミシェル・ルグラン	Michel Legrand	
出演	スティーヴ・マックイーン	Steve McQueen	マイク・デラニー
	ヘルガ・アンデルセン	Elga Andersen	リサ
	ジークフリート・ラウヒ	Siegfried Rauch	エーリッヒ・ストーラー
	ロナルド・リー＝ハント	Ronald Leigh-Hunt	マネージャー
	リュック・メランダ	Luc Merenda	クロード・オーラック

フレッド・アルティナー	Fred Haltiner	ヨハン・リッター
ルイズ・エドリンド	Louise Edlind	
クリストファー・ワイト	Christopher Waite	
アンジェロ・インファンティ	Angelo Infanti	
ジャン＝クロード・バーク	Jean-Claude Bercq	
ミシェル・スカレラ	Michele Scalera	